

広報

No.189

丹波山

TABAYAMA



大きな自然のポケットです。
山の山の手。丹波山村。

令和7年11月

編集と発行 丹波山村総務課 山梨県北都留郡丹波山村2450 TEL 0428-88-0211 FAX 0428-88-0207
E-mail info@vill.tabayama.yamanashi.jp URL https://www.vill.tabayama.yamanashi.jp/



長崎知事が丹波山村を訪問

長崎幸太郎山梨県知事が10月22日、丹波山村を訪れ、丹波中学校、丹波山村保育所、放課後子ども教室「丹波っこくらぶ」などを見学されました。役場では、「知事と語る 丹波山村の今と明日」と題し、住民とパネルディスカッション形式で意見交換をしました（関連記事12ページ）。

主なもくじ

令和6年度決算	2	丹波中清流祭	6
村議会9月定例会	3	小中合同村民体育祭	6
秋の叙勲「瑞宝双光章」受賞		地域の出来事	8
橋詰昭人前消防団長	4	鴨沢文岳館がオープン	9
テーブル・ベンチ寄贈	4	人事異動・担当変更のお知らせ	10
サミットと地方創生へ連携協定	5	長崎知事が住民と意見交換	12

令和6年度の決算がまとまり、村監査委員による決算監査を経て9月定例会に提出されました。

一般会計の歳入総額は16億9,359万円（令和5年度は15億2,441万7千円）、歳出総額は16億4,664万8千円（令和5年度は14億9,344万3千円）差引額は4,694万2千円（令和5年度は3,097万円）でした。

なお、令和7年度に繰り越される2,629万8千円を差し引くと実質収支は2,064万4千円です。

令和6年度 決算

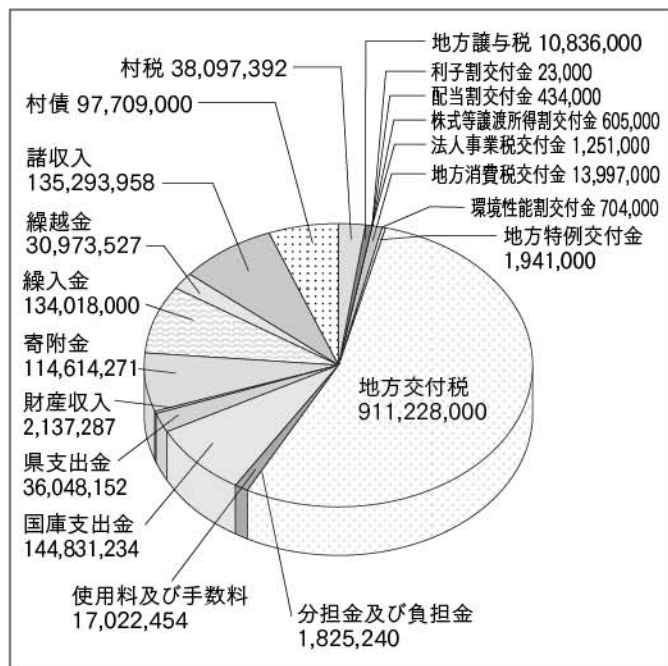
一般会計決算

歳入 16億9,359万円

歳出 16億4,664万8千円

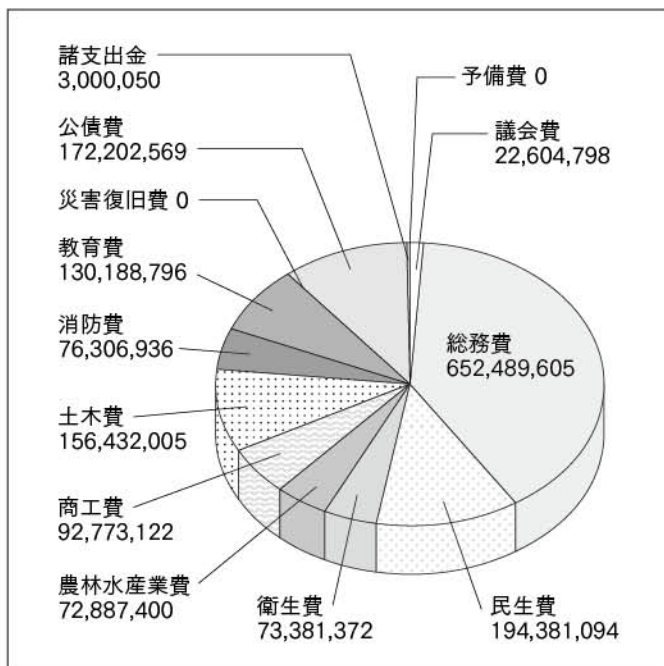
■一般会計歳入決算の内訳

(単位：円)



■一般会計歳出決算の内訳

(単位：円)



■令和6年度特別会計決算概要

(単位：円)

会 計 名	歳 入	歳 出
国民健康保険事業勘定	108,829,318	106,881,453
国民健康保険直診勘定	66,706,572	65,877,800
教育奨励資金	4,309,870	300,000
水源の里保健休養施設事業	20,221,189	20,097,534
有線テレビ放送施設事業	18,078,123	17,639,998
介護保険	108,090,854	86,679,514
温泉事業	47,687,397	47,589,902
介護サービス事業	886,832	0
後期高齢者医療	11,351,698	10,902,037
合 計	386,161,853	355,968,238

主な歳出

新庁舎管理費	1,456万円
地域おこし協力隊費	6,688万円
デジタル田園都市国家構想交付金事業	1億5,170万円
地方創生臨時交付金事業	1,402万円
社会福祉協議会事業費	2,966万円
介護保険繰出金	1,935万円
障害者自立支援給付事業費	2,790万円
簡易水道事業繰出金	3,050万円
温泉事業繰出金	4,740万円
下水道事業繰出金	1億1,300万円
公営住宅管理費	1,021万円
常備消防運営事業費	5,312万円
起債元利償還	1億7,220万円

脱炭素時代の美しい住宅を表彰する設計事例コンテスト「日本エコハウス大賞2025」の小規模施設部門の最優秀賞に、丹波山村が令和6年度に中組地区に建設した村営のモバイル建築住宅（設計施工：佐藤工務店＋天野保建築）が選ばれました。表彰式は11月21日（金）に行われます。

丹波山村の
「モバイル建築住宅」が
エコハウス大賞部門賞
受賞

村 議 会

9月定例会

令和6年度一般会計及び特別会計決算認定、補正予算、人事案件他提出議案20件を可決
令和6年度公営企業会計決算認定2件を不認定

■一般質問

「議会の会議録画放映の中止と情報公開の代替手段について」
「デジタル化に対応できない村民に向けた紙媒体による充実した情報公開の在り方について」

質問者 守屋旭議員

■令和6年度決算に基づく丹波山村健全化判断比率、資金不足比率の状況報告について

村の借金返済に充てた額の大きさを表す実質公債費比率は10.5（前年9.3）と前年比1.2ポイントの増でした。早期健全化基準（黄色信号）は20.0です。

その他、実質赤字比率（普通会計の赤字の大きさ）連結実質赤字比率（水道、下水等を含む赤字の大きさ）将来負担比率（村が将来負担すべき借金等の大きさ）はいずれも数字が出ません（問題なし）でした。

■報告

●令和7年度丹波山村一般会計補正予算（第4回）の専決処分の承認
定額減税補正給付金事業の補正です。

●丹波山村各種委員等報酬並びに費用弁償条例の一部を改正する条例の専決処分の承認
国政選挙等の選挙長、投・開票管理者、投・開票立会人等の報酬改定です。

■条例

●丹波山村職員給与条例の一部を改正する条例
フレックスタイム制の導入に関連する条項の一部改正です。

●丹波山村職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例
労働基準法の条項と整合を図るための一部改正です。

●丹波山村パートタイム会計年度任用職員の報酬、期末手当、勤勉手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
最低賃金法に定める山梨県の地域

別最低賃金が、令和7年10月に変更されることに伴う一部改正です。

■補正予算

●令和7年度丹波山村一般会計補正予算（第5回）（別表）

●令和7年度丹波山村国民健康保険特別会計補正予算（事業勘定第1回）人件費の補正です。

●令和7年度丹波山村有線テレビ放送施設事業特別会計補正予算（第1回）N T T柱建替えに伴う改修業務の補正です。

●令和7年度丹波山村介護保険特別会計補正予算（第1回）
介護給付費交付金等償還金の補正です。

■令和6年度決算の認定

●一般会計及び特別会計9会計の歳入歳出決算は認定されました。
●公営企業会計2会計の歳入歳出決算は次の理由で不認定となりました。
不認定理由
簡易水道事業会計及び下水道事業

会計の2会計については、現時点での決算書の未収金との整合性等について精査することができない状態にあり、今後早急に原因究明を求める理由から不認定に相当すると判断されました。

■人事

丹波山村固定資産評価審査委員会委員の選任
小池文夫さんが引き続き選任されました。

■議員発議

学校の働き方改革・長時間労働是正の実現のための教職員定数改善と「カリキュラム・オーバード」の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充を図るための意見書

提出者 酒井隆幸議員
賛成者 守屋旭議員
賛成者 広瀬直照議員
賛成者 守屋保志議員
賛成者 白木昭一議員
賛成者 嶋崎義人議員

一般会計補正予算第5回の内訳

主な歳入 (単位：千円)

区分	補正額	主な内容
地方交付税	△ 17,908	普通交付税 △ 18,733 特別交付税 825
国庫支出金	18,868	デジタル基盤改革支援補助金 12,518 地域観光魅力向上事業補助金 5,000 重要インフラ施設周辺森林整備事業補助金 1,350
県支出金	561	特産品開発市町村支援事業費補助金 494
繰入金	44,957	財政調整基金
諸収入	3,400	花粉対策事業 2,600
村債	18,700	緊急自然災害防止対策事業債 20,000
計	68,578	

主な歳出 (単位：千円)

区分	補正額	主な内容
議会費	570	村議会研修費用弁償等
総務費	17,168	人件費 3,242 有線テレビ放送施設事業特別会計繰出金 2,275 自治会活動支援事業交付金 4,000 滞在拠点修繕費 2,000
民生費	8,327	人件費 4,803 国民健康保険特別会計（事業勘定）繰出金 1,024 障害者自立支援給付事業 2,000
衛生費	5,112	パッカー車修繕費 5,000
農林水産業費	5,351	花粉発生源重点区域緊急対策事業等
商工費	6,660	イマーシブレストラン事業 6,000
土木費	20,534	道路凍上災害対策事業 17,500
消防費	3,560	Jアラート受信機更新 3,322
教育費	1,296	人件費等
計	68,578	



岡部政幸さんが 山梨県スポーツ協会表彰を受賞

9月13日に小瀬スポーツ公園 武道館アリーナにおいて開催された「山梨県体育祭り総合開会式」で、岡部政幸さんが山梨県スポーツ協会表彰体育功労者を受賞されました。

岡部さんは平成26年から山梨県自転車競技連盟の副会長を務められるなど、長年にわたり自転車競技の発展に尽力されました。



安全運転コンクール地区大会で 集落支援員・白川さんが優勝

10月2日に開催された第42回安全運転コンクール上野原地区大会で、丹波山村集落支援員の白川裕史さんが優勝しました。日々の業務でグリーンスローモビリティ等の運転を担当し、運転の技術が評価された白川さんは、10月31日に開催された山梨県大会に出場しました。



橋詰昭人前消防団長が 秋の叙勲「瑞宝双光章」を受賞

令和7年の秋の叙勲が11月3日発令され、橋詰昭人前丹波山村消防団長が瑞宝双光章を受賞しました。

橋詰前団長は、昭和54年度に入団以降、平成10年度から部長、平成13年度から指揮隊長、平成25年度からは副団長、令和3年度からは団長を歴任し、令和6年3月31日に退団するまで、丹波山村消防団を統括して活動されました。43年9か月の長きにわたる在職歴に加え、これまでの献身的な活動や数々の功績が認められました。おめでとうございます。



笠取小屋の経営者である田邊静さんより、テーブル・ベンチ3セットを寄贈いただきました。田邊さんは「多摩川源流笠取の会」の一員でもあり、毎年春に開催されている「水干祭り」は、同会が中心となって実施されています。寄贈いただいた備品は、道の駅に設置させていただきました。



テーブル・ベンチ寄贈



サミットと地方創生に関する包括連携協定を締結

20年来の協力関係を深化 ネットスーパーなど新たな取組も

丹波山村は10月1日付で、首都圏を中心に「サミットストア」を124店舗展開するサミット株式会社と「地方創生に関する包括連携協定」を締結しました。11月5日に丹波山村役場で行われた調印式には、同社の服部哲也代表取締役社長、木下喜人村長らが出席し、20年にわたり築いてきた関係をさらに深め、SDGsを踏まえ、サミットが掲げる「GO GREEN」チャレンジ宣言の実践と、丹波山村の持続可能なむらづくりに協力し合うことを誓いました。

サミット株式会社は、平成18年に丹波山村で「サミットの森」活動を開始し、東京都の水源地である丹波山村の森林整備を通じ、豊かな水資源の保全に取り組んできました。平成27年には、村内の耕作放棄地を活用した「サミットファーム」の活動も加わり、同社の社員や家族によるボランティアのほか、スーパーのお客様が丹波山村を訪れるツアーを通じ、関係人口の創出にご協力いただいています。

協定の締結に合わせ、スーパーマーケットやコンビニエンスストアがない丹波山村の買い物支援の取組として、サミットネットスーパーの配達が始まりました。来年3月末まで試験的に、協力家庭へ武蔵野緑町店から週に一度配達していただいています。また、同社広報部に勤務する内山健太氏を地域活性化起業人として委嘱しました。



▲ 地域活性化起業人の内山健太氏



▲ 11月5日に行われた調印式



▲ 丹波山村での試験配達が始まったサミットネットスーパー

丹波山村版マードーミステリー 新作品を制作中

丹波山村が昨年度制作した周遊型マードーミステリーのオリジナル作品「狼ノ村」のヒットを受け、今年度は新しい作品の制作に取り組んでいます。観光庁の「地域観光魅力向上事業」に採択され、補助金を活用し、来年2月の販売開始を目指しています。また、「狼ノ村」の公演も11月末から再開し、冬場の観光集客につなげたいと考えています。

丹波山村では、エンターテインメントを活用した村の活性化を推進していくため、水谷優斗氏（株式会社イマーシブ・ラボ勤務）を10月1日付で副業型地域活性化起業人に委嘱しました。



丹波山村ことも政策
アドバイザーに委嘱

7月30日付で、日永龍彦氏、大野佳祐氏を丹波山村ことも政策アドバイザーに委嘱しました。日永氏は、山梨大学教授を務める傍ら、丹波山村のコミュニティスクール活動に長年関わっており、大野氏は島根県海士町で高校教育の魅力化に平成26年から参画されています。豊富な経験と実績を活かして、教育環境の充実にお力添えをいただきます。



▲ 大野佳祐氏



▲ 日永龍彦氏

第
57
回

清流祭

丹波中学校第57回清流祭が9月13日に行われました。今年のスローガンは「変幻自在」。ソーラン節や、全校音楽での合奏・合唱の発表があったほか、校外学習や修学旅行で学んだこと、各々の探求部の練習の成果を披露しました。



小中合同村民体育祭

10月4日に小中合同村民体育祭を行いました。天候が心配されましたが、今年度は無事、予定していたプログラムを最後まで行うことができ、親子競技やフォークダンス等の新しいプログラムを取り入れ実施しました。多くの方にご参加・ご協力をいただき、ありがとうございました。



第60回 丹菅音楽祭

第60回丹菅音楽祭が10月24日、丹波中学校で行われました。今年は「さまざまな音楽にふれあい、楽しい音楽にしよう」をスローガンに、丹波小の木遣り唄や、丹波中の合唱ふるさと、小菅小・中の太鼓演奏などが披露されました。





★ご長寿おめでとうございます★



守屋以志江さん(中組)が8月30日に90歳を、岡部力子さん(押垣外)が9月28日に100歳を迎えられ、国・県・村から記念品等が贈られました。100歳のお祝いは丹波山村で4人目です。健康にご留意され、いつまでも、元気でいてください。



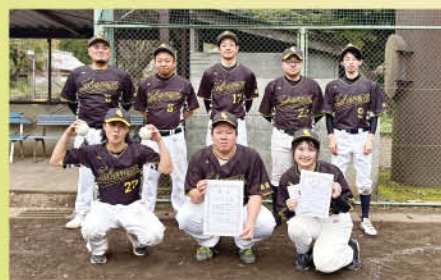
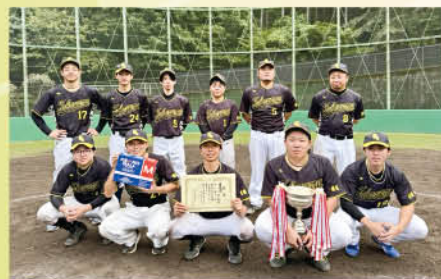
奥多摩町スポーツ協会主催

秋季野球大会・ソフトボール大会



奥多摩町で開催された「第41回奥多摩町スポーツ協会会長旗秋季野球大会」に丹波山村の野球チーム「飛龍」が出場しました。準決勝では相手好投手から少ないチャンスをモノにして勝ち上がりましたが、決勝ではあと一歩及ばず、準優勝となりました。

また、「第81回秋季ソフトボール大会」にも出場し、こちらも準優勝でした。野球とは異なるスピード感溢れる試合展開に参加者一同楽しんでプレーしていました。



ジャパンオープンで準優勝！

～カップ(KUBB)友だち募集中～

10月5日に岩手県住田町で行われた「クッブジャパンオープン2025in住田町」で、丹波山村チームが準優勝を果たしました。木をぶつけて倒すだけのシンプルなスポーツで、年齢や体力に関わらず楽しめるクッブ。木と木がぶつかる時の「カーン！」という音がとても心地よい体験と一緒にできる仲間を随時募集しています。今後、村内での練習やルール講習会を有志で企画しています。レッツ プレイ KUBB!



地域の出来事 Topics & News

第 2 回「TURNS LOCAL COLLEGE in 丹波山村」を開催



9月1～15日の2週間、「TURNS LOCAL COLLEGE (ターンズ・ローカル・カレッジ) in 丹波山村」を開催しました。昨年に続き、二度目の開催で、今年は全国から集まった18～22歳の大学生14人が参加。「すべり台」「観光」「麦芽粕」「林業」の四つのテーマに分かれてフィールドワークを重ねながら村の地域課題の解決につながる企画を提案しました。

ローカルカレッジは、移住情報誌『TURNS』が20代の若者を対象に行っているプログラムです。最終日には役場で村おこしの企画を発表し、「麦芽粕を活用した栄養補助食品・染物への活用」などのアイデアを提案しました。参加者同士で意見をぶつけ合い、住民や地域事業者と触れ合うことで、新たな発見に気づき、日々成長していく姿を見ることができました。

地方創生支援官が鴨沢地区を視察

「地方創生伴走支援制度」による支援官3人が9月29日、三度目となる現地訪問で、鴨沢地区を視察しました。8月にオープンした「鴨沢文岳館」の改修の取組について、地域おこし協力隊の山本菜々子隊員が発表し、鴨沢地区の集落の成り立ちについて調査を行っている株式会社 HOOP の阿部彰一級建築士(地域活性化起業人)が、自然公園法やがけ条例による鴨沢地区の建築規制等について説明。また、河村義信商工会長には、鴨沢小中学校で過ごした当時の地区の様子などをお話いただきました。

前日に開かれた「舞茸祭」にも参加いただき、活気ある丹波山村を体感いただきました。



「笑顔 ふれあい ワクワク学ぼう」テーマに健康まつり

10月18日、役場2階で「笑顔 ふれあい ワクワク学ぼう」をテーマに、「健康まつり」を行いました。山梨県国民健康保険団体連合会からお借りした機器で



健康状態をチェックしたほか、甲州リハビリテーション病院の理学療法士と看護師の指導の下、聴診器で心音を聞くことや運動を体験。栄養士からはタンパク質を簡単に取る「手羽元のぼん酢煮」の提供や、350gの野菜の手計、子ども向けのエプロンシアターをしていただきました。

食生活改善推進委員会も「手作りかりんとう」の試食を提供してくださいました。子どもから大人まで、楽しいひと時を過ごすことができました。来年も住民の皆さんが自らの健康に気づく機会を設け、学びのある「健康まつり」を企画していきます。



お買い物ツアーでハイジの村を訪問

介護予防事業の一環として、10月22日に北杜市明野町の「ハイジの村」に行ってきました。バラや秋桜が咲く庭園をゆったり散策することができました。韮崎市内で昼食をとり、道の駅で思い思いの物を購入。最後に甲州市内で雑貨や医薬品、食料を購入して村に帰ってきました。

独居者や高齢者世帯が増え、村内の小売店も減っていることを受け、年2回実施している「お買い物ツアー」。住民同士のつながりや社会参加を目的に、今後も続けて行きたいと考えています。



防災講演会を開きました

9月1日の防災の日に合わせ、都留市与縄地区防災計画推進会の臼井久さんを講師にお招きし、防災講演会を開きました。いつ起こるかわからない災害への備えとして、日ごろから地域で支え合うことの大切さや、与縄地区で行っている避難訓練の取組についてお話しいただいたほか、「地震の際にガラスなどから足を守るため、枕元に古い靴を用意しておく」といったアドバイスもありました。当日は80人を超える多くの方にご参加いただき、「今日からできる防災を始めたい」といった感想が多く寄せられました。



鴨沢文岳館がオープン



8月12日に鴨沢文岳館のオープニングイベントを開催しました。当日は、地元有志による音楽演奏や商工会による物販など行い、賑やかな時間となりました。鴨沢文岳館は、地域おこし協力隊・地域おこし協力隊OB OGが活動する場、丹波山村の東京方面からの玄関口にある観光・情報発信拠点として運営しています。

ふるさと大使と

丹波山村の地方創生をテーマに対談

丹波山村ふるさと大使の鳴坂竜一氏（株式会社カルネヴァール代表取締役社長）と木下喜人村長らが10月12日、東京・表参道にあるCBC Restaurantで、「地方創生と丹波山村のこれから」をテーマに対談しました。丹波山村が目指す方向性や課題について、



事例を交えて紹介。この日は、原木舞茸やジビエなど丹波山村の食材を使った特別なディナーメニューも提供され、食と対談を通じて丹波山村の魅力を知っていただいた1日となりました。

全国過疎問題シンポジウム in鳥取に参加

10月30日・31日に開催された「全国過疎問題シンポジウム2025 in とっとり」に木下村長らが出席しました。30日に鳥取市のとりぎん文化会館で開かれた全体会では、「世代を超えて安心して住み続けられるふるさと～自然・人・活力とともに～」をテーマにパネルディスカッションが行われ、丹波山村の移住・定住の取組などについて発表しました。



POTLUCK BARで

丹波山村の魅力を紹介

ふるさと大使・完熟フレッシュも登場



東京・八重洲にある地域経済創発拠点「POTLUCK YAESU」で9月26日、丹波山村の魅力を紹介するイベント「POTLUCK BAR with 丹波山村」を開きました。丹波山村に関心のある企業人ら約60人が集まり、木下村長らと交流を深めました。

7月にふるさと大使に就任した完熟フレッシュの2人も漫才形式で丹波山村の魅力を紹介。会場では丹波山村産の原木舞茸やじゃがいも、ジビエを使った料理や、丹波山村のウイスキーや地ビール、舞茸を使ったクラフトジンやコーヒーもふるまわれました。



人事異動・担当変更のお知らせ

11月1日付で役場の人事異動（配置換え）を行い、一部事務の担当を変更しました。総務課内に「税財政室」を設置し、各種税金や保険料などの徴収に関する業務を一括して行います。また、地域創造課内に地方創生室及び移住推進室を新設しました。

▶配置換え：

芦澤将一郎（振興課 課長）、守屋剛（総務課 税財政室 室長 兼 会計管理者）、岡部英利（住民生活課 課長）、中込隼人（総務課 税財政室 副主査）、船木隆嘉（地域創造課 地方創生室 副主査）、矢嶋澄香（地域創造課 移住推進室 副主査 兼 総務課 副主査）、瀧本清明（総務課 税財政室 主任）、酒井麻未（総務課 税財政室 主事）、井上登太（振興課 主事）、吉野松見（総務課 税財政室 会計年度任用職員）

▶併任解除：

相生有得（議会事務局 局長）

	これまで	11月から
・国民健康保険税（徴収事務） ・介護保険料（徴収事務） ・後期高齢者医療保険料（徴収事務） ・水道料（徴収事務）	住民生活課	総務課 税財政室
・村県民税 ・固定資産税 ・軽自動車税 ・ふるさと納税	総務課	
・出納・会計事務 ・監査事務	出納室	
・有線テレビ使用料（徴収事務）	総務課	
・住宅使用料（徴収事務） ・下水道使用料（徴収事務）	振興課ほか	
・簡易水道	住民生活課	振興課
・観光 ・水源の里 ・商工 ・創業支援	地域創造課	
・広報	教育委員会	総務課
・選挙	議会事務局	
・統計	総務課	議会事務局
・移住定住 ・人口減少対策	総務課	地域創造課 移住推進室
・地方創生交付金 ・地域おこし協力隊 ・集落支援員	地域創造課	地域創造課 地方創生室

税金の納め忘れはありませんか？

11月・12月は
**滞納整理
強化期間**

定められた納期までに納税がない場合、預金・給与等の差押、自動車のタイヤロック、ご自宅への訪問・捜索などを行う場合があります。

＜納税が困難な場合は相談を＞
災害、ご本人や家族の病気、失業など、やむを得ない事情で納税が困難な場合は必ず納期限までに該当する市町村・県までご相談ください。

山梨県地方税滞納整理推進機構
(山梨県・県内27市町村)

簡単・便利な
エル キューアル
eL-QRの
キャッシュレス納付を
ご利用ください

CREDIT CARD

eL-QR

地方税共同機構

食育
ひろば

冬野菜の
豆乳ポトフ

寒い季節になり、体も心もほっこり温めてくれる「冬野菜の豆乳ポトフ」をご紹介します。かぼちゃやブロッコリーは、ビタミンAやビタミンCが豊富で、風邪などの予防にぴったりの野菜です。脂肪分の少ない植物性たんぱく質を主成分とした豆乳を加えることでまろやかになり、体にも優しい一品になります。

作り方

- ① 葉を落とした小かぶ、玉ねぎ、人参は皮をむき、一口大に切る。かぼちゃ、鶏モモ肉も一口大に切る。ブロッコリー、しめじは小房に分ける。
- ② かぼちゃの皮が軟らかくなるまで電子レンジで加熱する。
- ③ 鍋にオリーブオイルを入れて熱し、鶏モモ肉に焼き色がつくまで加熱する。水と顆粒洋風だしを入れ、小かぶ、玉ねぎ、人参、ブロッコリー、しめじを入れ、軟らかくなるまで煮込む。
- ④ ③に2cm程度に切ったかぶの葉と無調整豆乳を加えて塩で味を調え、仕上げにかぼちゃを加えて、沸騰直前まで加熱したら出来上がり。

材 料 (2人分)

- 葉付き小かぶ：1個
- 人参：1/2個
- しめじ：50g
- オリーブオイル：小さじ1
- 水：300ml
- 無調整豆乳：200ml
- 玉ねぎ：1個
- ブロッコリー：1/4個
- かぼちゃ：100g
- 皮なし鶏モモ肉：100g
- 顆粒洋風だし：小さじ1
- 塩：少々

第24回 多摩川流域郷土芸能フェスティバル 12月7日(日)

- 多摩川流域の郷土芸能が一同に会します。
- ▶時間 12:30~17:00 (終了予定)
- ▶会場 エコルマホール (狛江市)
- ▶内容
- 12:30~ 開会セレモニー
 - 12:50~ 小菅村:小永田神代神楽保存会
 - 13:25~ 奥多摩町:神庭の神楽
 - 13:50~ 日野市:日野市祭ばやし連合会
 - 14:15~ 多摩市:和太鼓せいせき鼓桜
 - 14:45~ 休憩
 - 15:00~ 稲城市:青渭囃子保存会
 - 15:25~ 調布市:郷土芸能祭ばやし保存会 金子囃子連
 - 15:55~ 府中市:武蔵国府太鼓 響会
 - 16:25~ 狛江市:駒井はやし保存会
 - 17:00~ じゃんけん大会
- ※内容及び出演予定時間は変更になることがあります。
- ※郷土芸能終了後、特産品が当たる「じゃんけん大会」を実施します。

第9回多摩川流域物産展 同日開催

- 多摩川流域郷土芸能フェスティバル参加自治体等による、物産品の販売を行います。
- ▶時間 10:00~14:00 (売り切れ次第終了)
- ▶会場 ほこみちエリア
- ▶内容 多摩川流域自治体特産品の販売
- 小菅村:ヤマメの塩焼き (炭)
 - 奥多摩町:奥多摩町特産品など
 - 日野市:日野産野菜や銘菓など
 - 多摩市:カレーパン
 - 稲城市:ドライセット (パスタ・フルーツ)、チーズケーキ、ガトーショコラ、ハンドドリップコーヒー
 - 調布市:樽ホッピー、コアップガラナ
 - 府中市:お酒・特産品など
 - 狛江市:狛江ブランド農産物
 - 丹波山村:原木舞茸だし、タバジビエ鹿カレー、みそドレッシングなど
- ※内容は変更になることがあります。

えきまえフェスティバル 同日開催

- 同日にえきまえ広場で、いかにレースでつながりのある地域などの出店や市内小・中学校おやじの会を中心として学校の枠を超えたゲームと飲食による遊びの広場「狛江こどものフレンドパーク」も開催します。
- ▶時間 10:00~15:00

■問い合わせ

- ▶多摩川流域郷土芸能フェスティバル実行委員会事務局
- ▶多摩川いかにレース実行委員会事務局
- ともに狛江市市民生活部地域活性課内
- ☎03-3430-1111

YBSラジオは、令和8年3月1日から「FM転換実証実験」を行います。AMの運用を休止し、FM90.9MHzのみの放送となるため来年3月1日からは、FM90.0MHz以上が受信できるワイドFM対応ラジオ、または無料アプリ「radio」でお聴きください。ご不便をおかけすることになりますが、役立つ生活情報や、防災・減災につながる放送に、変わらず注力して参ります。

▼YBSラジオFM転換準備室

☎055-237-1189



詳細はこちら▲
FM転換HP

お知らせ Information

10月・11月は麻薬・覚醒剤・大麻乱用防止運動実施期間です

近年、薬物の中でも特に大麻の乱用が深刻な社会問題となっています。若年層を中心に、大麻の危険性の認識が低下し、「一度だけなら大丈夫」「海外では合法だから安全」などの誤った情報が広がっています。

大麻は無害ではありません。ゼツタイに手を出さないでください。薬物乱用は、自分自身だけでなく、家族や友人、社会全体に深刻な影響を与えます。

薬物乱用は「ダメ。ゼツタイ。」「自分には関係ない」と思っている方々にも、正しい知識と危機意識を持つてもらいための大切な取り組みを行っています。

▼相談先 富士・東部保健所 衛生課

☎0555-24-9033



電話相談は、顔を合わせることも名前を知らせる必要もありません

認知症のことで困ったら電話相談！

- 悩みや辛さを一人で抱え込まないで、まずは私たち相談員に話してみませんか？
- 相談員の担当は、月・水曜日が認知症介護経験者、火・木・金曜日は専門職です。
- 相談は無料(通話料のみ)、秘密は厳守します。安心してご相談ください。
- もしかしら家族が認知症かも…。
 - お財布を盗んだと言われて…つらい。
 - 同じ悩みをもつ仲間同士の交流会に参加してみたい。
- 認知症のこと、介護のこと、なんでも聴かせてください。



山梨県認知症コールセンター (若年性認知症対応可)

055-254-7711 開設日 月～金 午後1時から5時迄

土曜日・日曜日・祝日・年末年始(12月29日～1月3日)はお休みです

本事業は、公益社団法人認知症の人と家族の会山梨県支部が、山梨県から委託を受けて実施しています。

七ツ石小屋バイオマストイレ メンテナンス費用をCFで募集



七ツ石小屋のバイオマストイレが設置から10年が経過し、メンテナンスの時期を迎えていることを受け、トイレの槽に溜まった汚泥の抽出にかかる費用をふるさと納税型のクラウドファンディングで募っています。

バイオマストイレは、水を大量に使わず、槽内の素材と微生物の働きで汚物を分解・安定化させることで、上下水道のない山岳地でも設置できます。搬入する水や電力、排出する汚水を最小限に抑えることができるため、環境負荷が小さいのが特長ですが、衛生状態と処理機能を保つには、分解の過程で少しずつ蓄積していく汚泥を定期的に抽出(入れ替え)しなければいけません。

クラウドファンディングでの寄付の受け付けは、来年1月22日まで。目標額は300万円。8月に汚泥の抽出とヘリコプターでの搬出作業を行う計画です。





長崎知事が丹波山村を訪問

住民とパネルディスカッション

長崎幸太郎山梨県知事が10月22日、丹波山村を訪れ、「知事と語る 丹波山村の今と明日」と題し、介護、教育、救急医療、観光、林業、公共事業に携わる6人の住民とパネルディスカッション形式で意見交換をしました。会場には、約100人が詰めかけ、議論の様子を見守りました。



パネリスト発言要旨



芦澤小百合氏
(介護)

「誰一人取り残さない村」の実践を、高齢者の分野で取り組んでいる。介護サービスが充実していない村で、介護保険では対応できない高齢者の見守りの仕組みが必要。高齢者用のシェアハウスやグループホームの設置の可能性を考えたい。丹波山村にはまだ、住民同士で支え合い、何かあったらすぐに駆けつける土壌がある。



嶋崎竜馬氏
(教育)

学校運営協議会のほか、山村留学の窓口もやっているが、学校の魅力が伝わっていないと思う。特色ある教育を学びに「イエナプラン教育」の全国大会に参加したが、すでに村で実践されている内容が多かった。教育で人を呼びたいし、そのための人材も必要。いい先生がいても2年で村を離れてしまう現状をどうにかしてほしい。



船木正之氏
(救急医療)

丹波・小菅で一つの出張所のため、4か月ごとに詰所が替わり、峠を越える移動に20分以上かかる。2年後には東部指令センターの機器改修のため村に1億円の負担金を依頼しなくてはならない。広域消防ができることで、村の負担金が減り、消防士の採用の課題も解決すると思う。県主導で広域消防を早期に進めてもらいたい。



酒井隆幸氏
(観光)

丹波山村には1年を通して質の良い食材がある。村の人からすれば当たり前だが、外の人にとって見れば宝の山。自分たちも原木舞茸を作っているが、どこに出しても高い評価をもらう。おいしいものを目当てにどんなに遠く離れたところにもでも移動する人はいる。首都圏からの近さを生かして、「食」で人を呼びたい。



佐藤駿一氏
(林業)

8年前に神奈川から地域おこし協力隊として移住し、現在は5人の従業員を抱えて林業の会社を経営している。山林の70%が東京都の所有林ということもあり、現状は都の仕事が多いが、今後は広く山梨県内で仕事をしていきたい。ただし、入札参加資格があったとしても新規参入の難しさがある。



白木孝郎氏
(公共事業)

山間の村で、災害の発生やインフラが止まってしまうことに対して強い不安がある。丹波一落合間は80ミリの雨で通行止めになるが、東京都の方は120ミリまで雨量規制がかからない。村の外に出て仕事をしている住民もいる。道路の安全を保った上で規制基準を考えてほしい。安心安全な村にしたい。

パネルディスカッションを終え、長崎知事は、「丹波山村の素敵な点をいくつも教えてもらった。これを初めの一步として、県の立場からしっかりとバックアップ（後ろだて）をしていきたい。丹波山村の取組を全国に誇れるものにしていきたい」と話しました。この日は、中学校、保育所、放課後子ども教室「丹波っこくらぶ」も見学していただきました。

